

事業報告書 (令和 5 年度)

事業名 みんなの岡山ー斉清掃ー2023旭川流域キックオフ清掃ー

団体名 N P O 法人 グ リ ー ン パ ー ト ナ ー お か や ま

担当者名 藤原瑠美子

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1 . 活動内容 (日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

日時：2023年11月26日 (日) 受付9:00

場所：旭川平井緑地 (岡山市中区平井 7 丁目 3 0) 旭川平井緑地河川敷

参加対象者：一般 学生

人数：120人

内容等：清掃ごみ分別、調査、ふりかえり

2 . ESDの視点

①事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

○昨年よりゴミが少なかった。大雨が降ってなかった。公園のところの清掃をしていたのでごみは流れてこなかった。土の中に埋もれているごみがあり、次回取るという意見があった。

○ゴミ清掃の意識は高くなっているが「捨てない」「捨てさせない」ことを他の人に伝えるまでにはいたっていない。

②どのように学び合いを取り入れたか

○清掃の時タイヤの下からミミズ、流木を叩くと虫などが出てきてそれらを説明をすると学生に喜ばれた。このことにより初めはゴミ問題への関心が薄かった生徒たちも興味を持ってくれた。彼らが楽しくなったと言ってくれて嬉しかった。

○清掃も常に変化しながら行うこと。振り返りも大事にしたい。

③どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

○清掃・ゴミに関心のない5校(教員)を含め、生き物調査研究校はじめて生き物にとってもゴミ問題の解決は不可欠だと訴え始めて参加連携につながった。

○常にゴミ課題に熱心な中学校との用水路清掃活動につながっていて担当にその活動への協力を求めるとありがたいことにみんな必ず繋がり、清掃活動に結びつく。

3 . 取組の成果 (事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。)

○気の遠くなる年数を重ね 清掃啓発を持続してきた。旭川 をモデルとして岡山ESDの協力を得て大きく活動の幅が広がった目的達成の未来が見えてきた。8市町村で年数を重ねごみ課題解決に参加(20年にわたる)令和5年連携実現。これからが本番なので目標達成に向かってみんなで進む。

4. 今後の課題と展望 (事業がどのように岡山地域のESDの取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか)

中高生実行委員 立ち上げ ゴミへの意識変えていく社会の環境、生活環境、安心な自然環境 (海・川・山) ゴミの溢れていない快適な生活持続 (ESD) をうたえる。

活動の様子がわかる写真

